

## 癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 悪性リンパ腫  
 CD20陽性濾胞性リンパ腫  
 レジメン名 NHL12,13,14共通 Obinutuzumab

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
ガザイバ	オビヌツズマブ	-	1000mg/body	div	DAY1,8,15(1コース目) DAY1(2コース目以降)	下記参照	21日間(7~28日) 維持療法:2ヶ月ごと

### 1コース目(初回導入)【DAY 1】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注 ※カロナール500mg内服
- ② NS 210ml + ガザイバ mg /13ml/hrから開始  
 投与速度: 30分毎に 13ml ずつ上げる(26ml/hr → 39ml/hr → 52ml/hr → 65ml/hr → 78ml/hr → 91ml/hr → 100ml/hr)
- ③ NS 50ml / 全開

### 1コース目【DAY 8,15】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注 ※カロナール500mg内服
- ② NS 210ml + ガザイバ mg /25ml/hrから開始  
 投与速度: 30分毎に 25ml ずつ上げる(50ml/hr → 75ml/hr → 100ml/hr)
- ③ NS 50ml / 全開

### 2コース目以降(維持療法)【DAY 1】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注 ※カロナール500mg内服
- ② NS 210ml + ガザイバ mg /25ml/hrから開始  
 投与速度: 30分毎に 25ml ずつ上げる(50ml/hr → 75ml/hr → 100ml/hr)
- ③ NS 50ml / 全開

### 〈 調整方法 〉

ガザイバは最終液量250mlとする。

### 〈 備考 〉

- ① 投与速度は 初回は13ml/hr から開始し、30分毎に 13ml ずつ速度を上げる。最大 100ml/hr
- ② 2回目以降は 25ml/hr から開始し、30分毎に 25ml ずつ速度を上げる。最大 100ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後もHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ ガザイバは投与時にフィルター(0.2 μ mのインラインフィルター:テルモ)使用。
- ⑥ 維持療法は最長2年間。